

スペイン語ガイドブック

■否定語

●否定語の種類は？

次のように代名詞、形容詞、副詞、接続詞に「否定」を示す語があります。

代名詞	nadie, nada, ninguno (ninguna)
形容詞	ninguno [ningún] (ninguna)
副詞	nunca, ni, jamás, tampoco, apenas
接続詞	ni, ni... ni...

●否定語の特徴は？

否定語が動詞の後にあれば動詞の前に **no** があって否定文を作りますが、動詞の前にあるときは **no** が現れません。

- **No fumo nunca**. // 私はけっしてたばこを吸わない。◇**fumar** [自動] タバコを吸う
- **Nunca fumo**. // 私はけっしてたばこを吸わない。¹

●不定語と否定語の関係は？

不定語と否定語は反対の意味をもちます。

¹ **Nunca** を前に出すと意味が強くなります。

不定語	否定語
alguien 誰か	nadie 誰も…ない
algo 何か	nada 何も…ない
alguno あるもの、ある人; どれかの	ninguno どれも…ない、誰も…ない; どの～も…ない
siempre いつも	nunca, jamás 決して…でない
también～もまた…である	tampoco ～もまた…でない
casi ほとんど…である	apenas ほとんど…でない
aún～さえ…である	ni ～さえ…でない
yそして…である	ni …もない
tanto ～ como ～ ～も～も…である	ni ～ ni ～も～も…でない

- Conozco a **alguien** de ese nombre. // 私はその名前の人を知っています)
- No conozco a **nadie** de ese nombre. // 私はその名前の人はいだれも知りません)
- ¿Hay **algo** nuevo? // 何か変わったことある?)
- No hay **nada** nuevo. // 何も変わったことはありません)
- ¿Desea usted dejar **algún** recado? // 何か伝言をなさりたいですか)
- No ha dejado **ningún** recado. // 彼は何も伝言を残さなかった)
- ¿Sabes si queda **alguna** cerveza en la nevera? -- No, no queda ninguna. // 冷蔵庫には少しビールが残っている?—いいえ、全然残ってません)
- Si tú vas, yo **también**. // 君が行くのなら僕も行く)
- Si tú no vas, yo **tampoco**. // 君が行かないのなら僕も行かない)

【語句】 **conocer** [他動] 知る **nombre** [男名] 名前 **hay** < **haber** [他動] ある **nuevo** [形] 新しい **desear** [他動] 望む **dejar** [他動] 残す **recado** [男名] 伝言 **quedar** [自動] 残っている **cerveza** [女名] ビール **nevera** [女名] 冷蔵庫 **vas** < **ir** [自動] 行く

スペイン語の質問

* 否定語。nunca と jamás の意味の違いは？

どちらも「決して…ない」という意味でほとんど同義ですが、jamás のほうが意味が強いです。nunca はラテン語の ne (否定) + unquam 「かつて一度」に由来して「一度も…ない」という意味です。jamás はラテン語の iam 「もう」(cf. スペイン語の ya) + magis 「さらに」(cf. スペイン語の más)に由来します。2つをつなげて nunca jamás と言うと、とても否定の意味が強くなります。

* スペイン語には二重否定はないのか？

「…ということはない」という意味を示すには、No es que + 接続法という表現があります。

- No es que no quiera hacerlo, sino es que no puedo. // 私がそれをやりたくない、というのではなくて、できないということなのです。

*** 質問の答えとかで No, no...というふうに否定語を2つ重ねて使っていますが、それなら二重否定の文はどうやって作るのでしょうか。**

二重否定とは2つの否定語が同一の語を否定することです。結果的に肯定になります。たとえば、I can never do anything without making some mistakes. は「私は何か間違いをしないでは何もできない」つまり「私は何をしても必ず間違いをする」という意味になります。スペイン語では No puedo hacer nada sin cometer algunos errores. となります。英語の anything はふつうスペイン語の algo に対応しますが、文が no で否定されると、動詞の後の algo は nada になります。

スペイン語の理由

*** nunca は動詞の後につくときは前に no が必要なのに、前につくと no をつけないでよいのはどうしてですか？**

実は古くは（中世で）「nunca no+動詞」という連続も使われていました。これが次第に no が使われなくなったのにはいくつか理由が考えられます。(1) 否定語は否定される語の直前に置くのが原則、(2) nunca と no が同じ文法的な資格（「否定」の副詞）を持つので同一視された、(3) 本来否定語でなかった apenas, jamás, tampoco などは no をつけないで用いられていたもので、それによる類推。動詞の後にあるときには、動詞を否定する要素が直前にないので no が必要になります。